

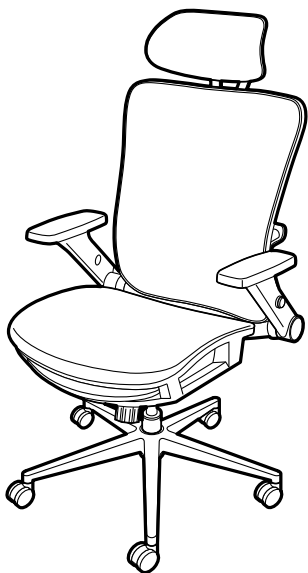
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようにご指導ください。

★用意していただくもの・・・

手袋（組立て時のケガ等を防ぐために着用することをお勧めします）



注意

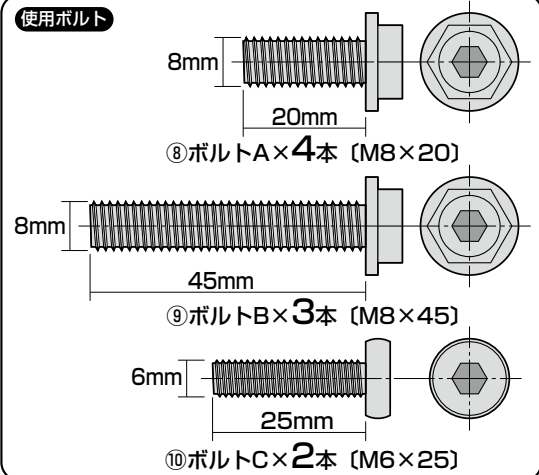
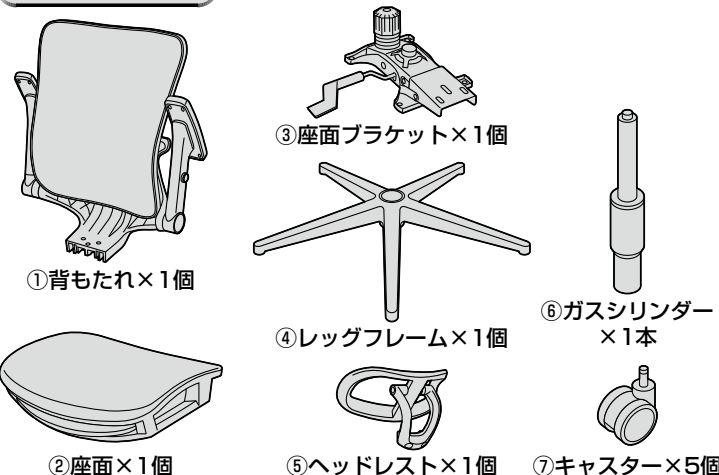
本製品の組立て作業は必ず大人
2人以上で行ってください。

注意

指などを挟まないように十分ご注
意ください。
組立て時のケガ等を防ぐために、
手袋の着用をおすすめします。

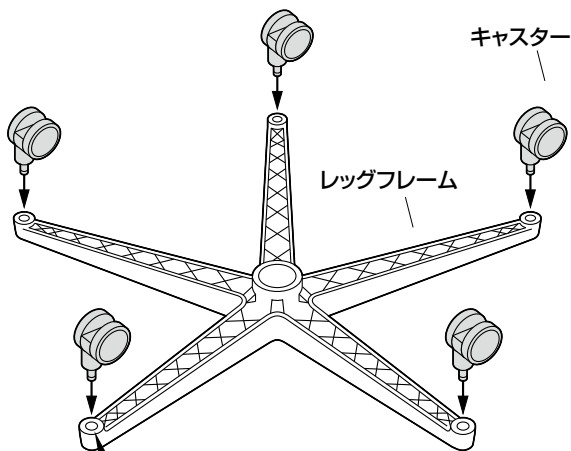
組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCM030など)と
下記の部品番号(①~⑩)と部品名(キャスターなど)をお知らせください。



⑪六角レンチ
(5mm)×1本

1 レッグフレームにキャスターを
取付けます。



注意

それぞれのキャスターは全て
圧入式です（手ではめこむ）。
奥まできちんと差し込んでく
ださい。

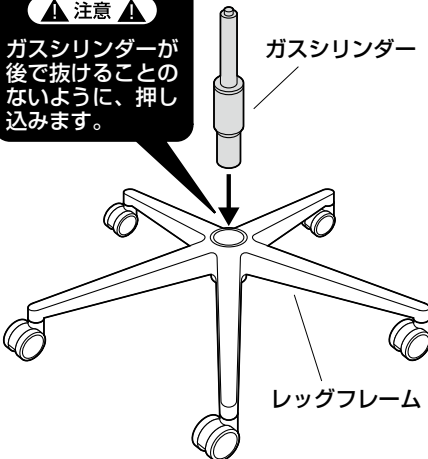
動画で
チェック



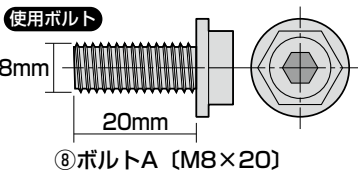
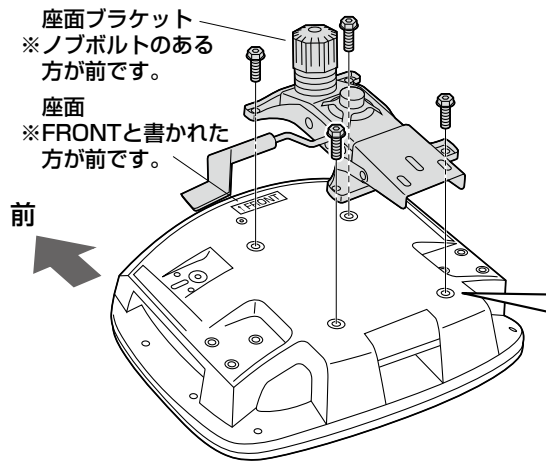
2 レッグフレームにガス
シリンダーを取付けます。

注意

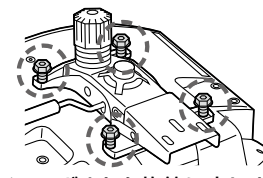
ガスシリンダーが
後で抜けること
のないように、押し
込みます。



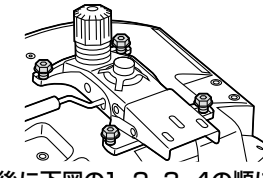
3 座面に座面ブラケットを取付けます。



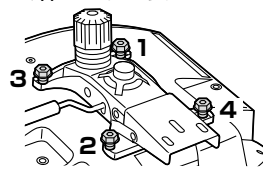
①4本のボルトをゆるく付けます。



②すべてのボルトを均等に少しずつ
締め込みます。



③最後に下図の1、2、3、4の順に
きつく締めつけます。



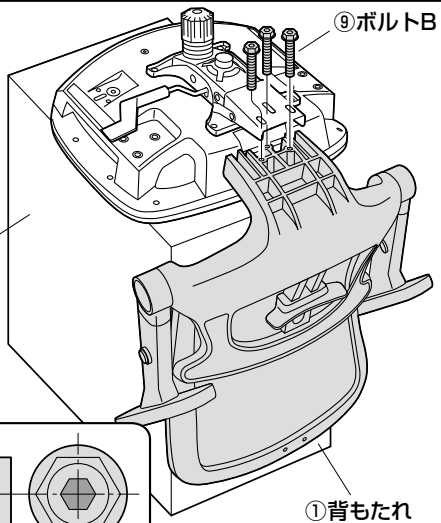
4 座面ブラケットに背もたれを取付けます。

梱包箱や机などの上で作業します。



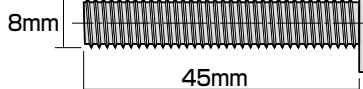
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

梱包箱や机など



①背もたれ

使用ボルト



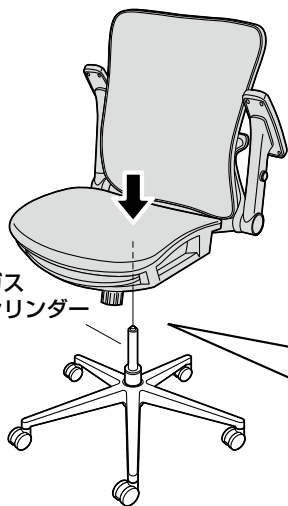
⑨ボルトB (M8×45)

5 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込みます。



座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。

⑥ガスシリンダー



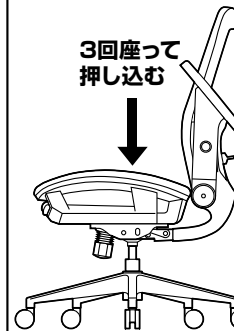
斜めに差し込まれている



まっすぐ奥まで差し込まれている

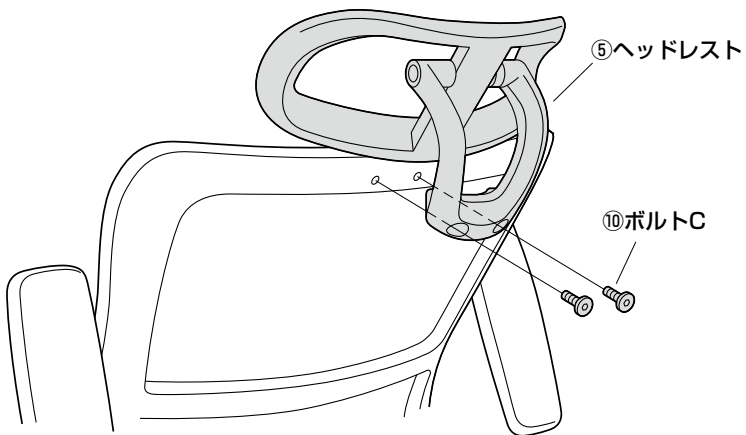
※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

3回座って
押し込む



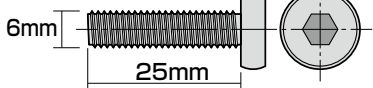
※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

6 背もたれにヘッドレストを取付けます。



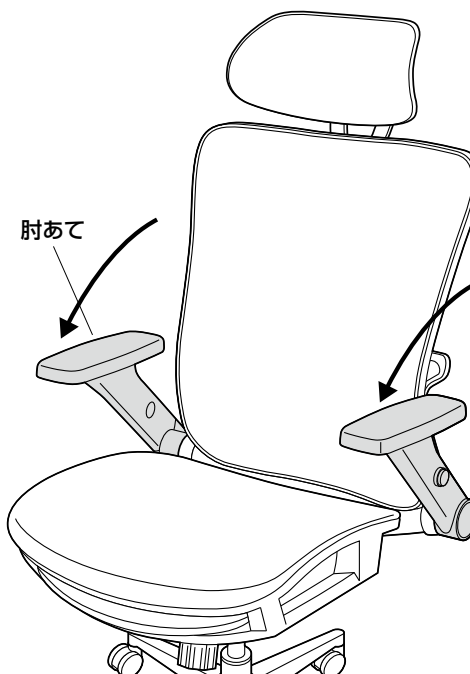
⑩ボルトC

使用ボルト



⑩ボルトC (M6×25)

7 肘あてを下ろして完成です。



肘あて

チェアの品質表示

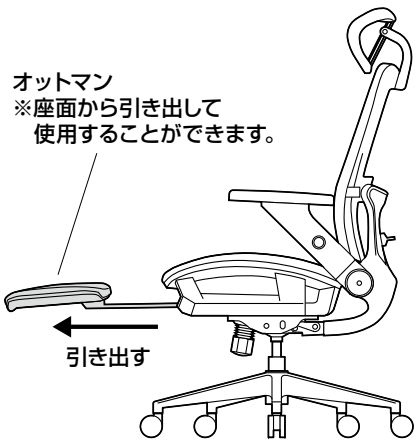
構造部材：座部、背もたれ部/ポリプロピレン
 オットマン/ポリプロピレン
 レッグフレーム/ナイロン
 キャスター部/ナイロン
 張り材：ナイロンメッシュ

▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

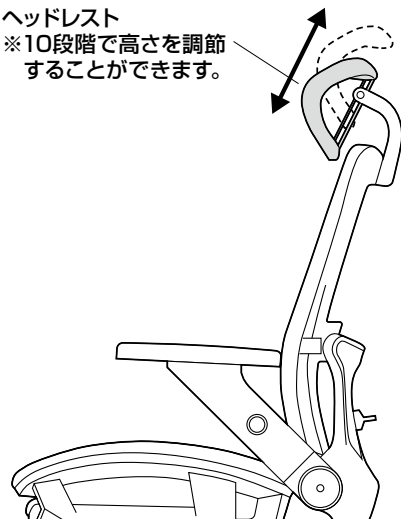
オットマンの使用方法

オットマン
※座面から引き出して
使用することができます。



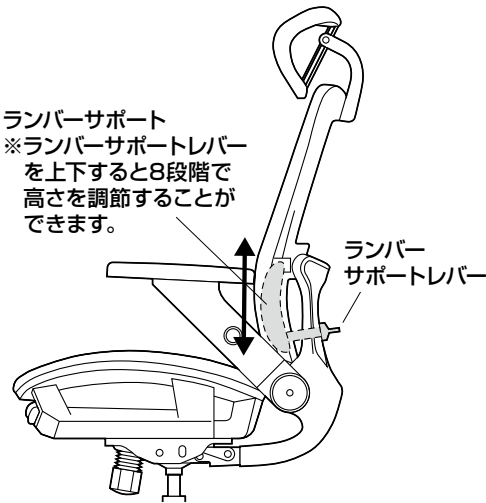
ヘッドレストの高さ調節方法

ヘッドレスト
※10段階で高さを調節
することができます。



ランバーサポートの高さ調節方法

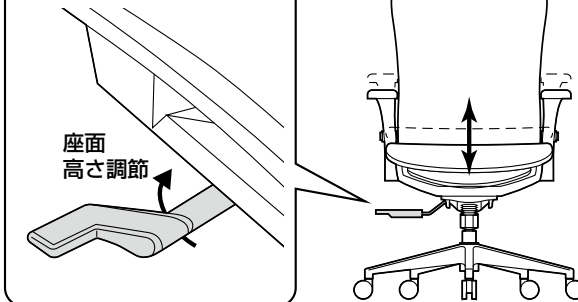
ランバーサポート
※ランバーサポートレバー
を上下すると8段階で
高さを調節することが
できます。



座面の高さ調節方法

▲ 注意 ▲ レバーを回転させてガスシリンダーが正常に作動
することを確認してから使用してください。
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで
差し込まれていない場合がありますので、座面
ブラケットを差し込み直してください。

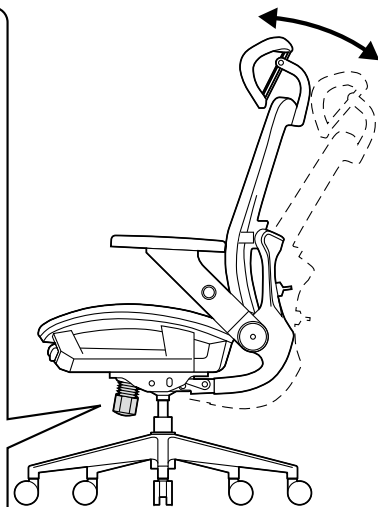
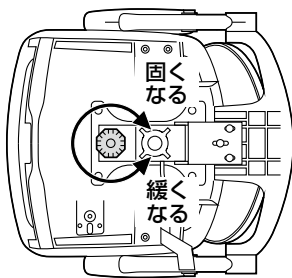
レバーを矢印の方向へ回転
させると座面の高さ調節が
できます。



ロッキングの固さ調節方法

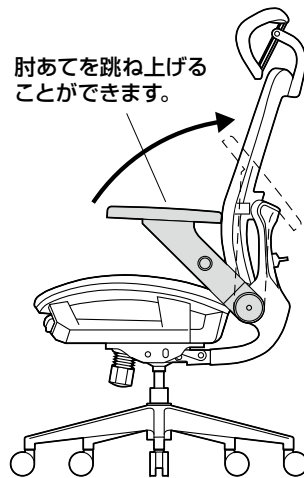
下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに
回すとロッキングが固くなり、
反時計回りに回すと緩くなります。

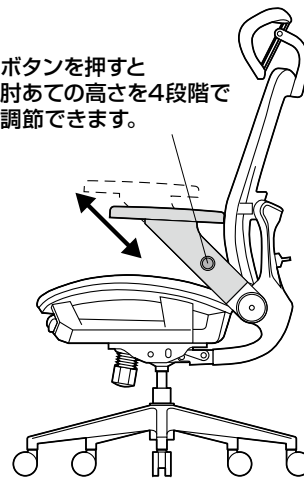


肘あての調節方法

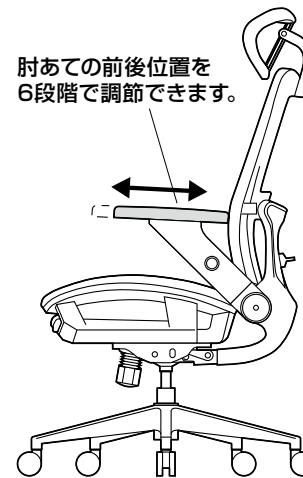
肘あてを跳ね上げる
ことができます。



ボタンを押すと
肘あての高さを4段階で
調節できます。



肘あての前後位置を
6段階で調節できます。



上から見た図

肘あての左右角度を
3段階で調節できます。

